

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	[倫理審査受付番号：第倫ヒ 0301 号] 胸部腫瘍における腫瘍免疫の研究
研究責任者氏名	兵庫医科大学 外科学 呼吸器外科 舟木 壮一郎
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	研究実施許可日（2016年1月16日）～2026年3月31日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：胸部腫瘍（肺癌、肺転移、中皮腫等） / 診療科名等：呼吸器外科
	受診日：西暦 2016年1月16日～2026年3月31日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他（ ）
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究目的・意義	肺癌、肺転移、中皮腫などの胸部腫瘍の治療には外科手術、放射線治療、化学療法、免疫治療があります。しかし、治療の効果やしきみについては未だ不明な点が多く、これらをすこしずつでも解明することを研究の目的としています。実際の治療で使用される薬剤の効果や作用機序、複数の治療を組み合わせで行う治療の開発、新たな抗腫瘍療法の開発を目的とした研究を行い、将来の胸部腫瘍にたいする治療の成績向上に貢献したいと考えています。
研究の方法	通常診療の過程で採取した血液、胸水の一部を使用させていただきます。また、病気の治療ために手術を受けた場合には、取り出された組織等の試料の一部を用います。組織・血液などの試料から遺伝子を含む成分を解析します。また、取り出した腫瘍細胞にさまざまな薬剤、免疫抗体、免疫細胞などを作用させて、腫瘍にたいする効果を検証します。
外部への試料・情報の提供	あなたのデータを含む研究に関するデータや情報について、国内の企業や研究機関からデータの提供を求められることがあります。現時点であなたの試料・データを提供予定の企業や研究機関は以下の通りです。（1）レパトアジェネシス株式会社、（2）株式会社ヘリオス、（3）株式会社ハカレル、（4）株式会社ペルセウスプロテオミクス

	データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	<p>研究代表機関名： 兵庫医科大学 呼吸器外科学</p> <p>研究代表者氏名： 舟木 壮一郎（兵庫医科大学呼吸器外科学・教授）</p> <p>研究分担者氏名： 廣田 誠一（兵庫医科大学病理診断部門・教授）</p> <p>実務責任者氏名： 松本 成司（兵庫医科大学呼吸器外科学・講師）</p> <p>共同研究機関名・研究責任者名： レパトアジェネシス株式会社 研究推進部 松谷 隆治</p> <p>共同研究機関名・研究責任者名： 株式会社ヘリオス 研究部 木村 博信</p> <p>測定依頼機関名・研究責任者名： 株式会社ハカレル 代表取締役 園田 光</p> <p>測定依頼機関名・研究責任者名： 株式会社ペルセウスプロテオミクス 代表取締役 横川 拓哉</p>
個人情報の取扱い	個人の情報を保護する義務を遵守します。試料と患者さんに関する記録は以下のとおり厳重に管理します。収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	<p>診療科名等：兵庫医科大学 外科学 呼吸器外科</p> <p>担当者氏名：研究責任者 舟木壮一郎</p> <p>[電話]（平日09～17時）0798-45-6885（左記時間以外）0798-45-6111</p>